

### 長崎のいろんなことを 気軽に話ませんか？



おたよりありがとうございます。  
 災害から身を守るためには、いつ、どこにおいても災害の情報を素早く知ることが大切ですよね。

市では、災害発生の危険性が高い順に、「避難指示・避難勧告」「避難準備情報」という避難に関する情報を発表しています。

避難情報の伝達手段の1つとして「緊急速報メール」を導入しています。

■緊急速報メールについて

6月に野母崎地区の避難準備情報が発表された際、職場の人の携帯が鳴り、はじめてそのような機能が付いていることを知りました。この「緊急速報メール」は、どのようなもので、どのような基準で配信されているのでしょうか？

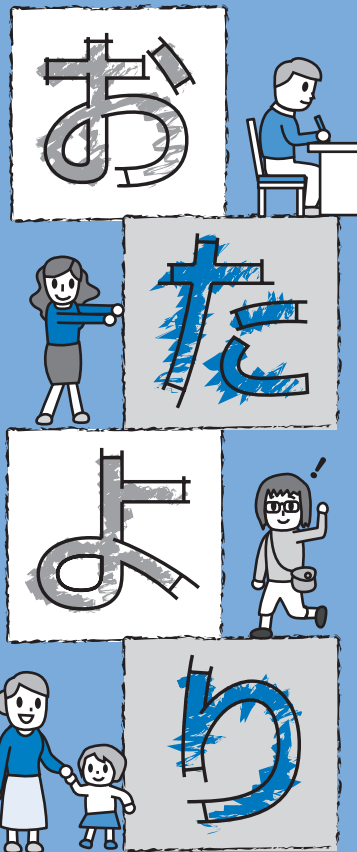
(西山3丁目 30代)

この緊急速報メールとは、ほとんどの機種種の携帯電話に最初から備わっており、「緊急地震速報」や、国・自治体が発信する「災害・避難情報」など生命に関わる緊急性の高い情報をお知らせするため、全国の9割を超える自治体が利用しているものです。

おっしゃるとおり、6月に初めて緊急速報メールを利用して、野母崎地区の避難準備情報を配信しました。

その後、国の方針に基づき、これまでも「**より早いタイミングで避難情報を出すことになり、配信の基準についても対象範囲など検証の結果、「避難勧告以上の危険レベル」かつ「災害が市内の広範囲に及ぶと想定される場合」に緊急速報メールを利用して配信することになりました。**

そのほかの情報伝達手段としては、防災行政無線・防災メール・長崎市のホームページ・データ放送があります

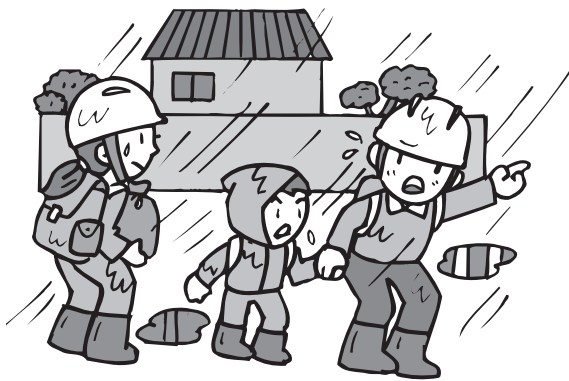


このコーナーに掲載する皆さんからのご意見を募集しています。

広報ながさきのご感想やまちづくりについてのご意見をプレゼントクイズのコーナーにお寄せください。

掲載させていただいたかたには、図書カードをプレゼントします。

※お便りは、広報ながさきや市ホームページでの紹介、プレゼントの発送に利用します。



が、これから、台風が多く発生する季節を迎えますので、災害から身を守るために、一人ひとりが気象情報や災害情報を積極的に入手し、落ち着いて行動していただくようお願いいたします。

(防災危機管理室)

### 今月のプレゼント

「選りすぐりの特産品はいかがですか？」長崎市ブランド振興会の会員が推奨するご覧の商品を今月は、

**10名様**  
にプレゼント!!

お店 **林製菓**

商品 **中華菓子8点セット**



創業昭和37年の「林製菓」では、素材の風味を生かし、一つひとつ丹念に手作りした中華菓子を自信を持ってお届けしています。全国菓子博覧会でも全菓博栄誉大賞を受賞した麻花兒(まふぁ〜る)など自慢の品々をご賞味ください。親しいかたへの贈り物にもどうぞ。

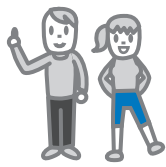
問 福岡市南区警弥郷1丁目9-13 ☎092-501-2559



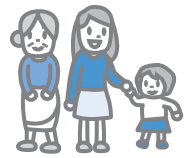
### 表紙の話



うちの近所が世界遺産になった!?  
正直まだ実感が湧かないようでしたが、「世界のたから」での思い出は将来きっと、貴重なものになるのでは…



さまざまなご意見をお待ちしています。



この仕組みを「地域包括ケアシステム」と言います。これは、地域の皆さん一人ひとりが助け合い協力することにより実現されるもので、地



域住民やボランティアによる助け合いの「互助」、介護予防など自分のことは出来る限り自分で行う「自助」、介護保険制度や医療保険制度の「共助」により進め、さらに、不足するものを「公助」により行政で行うものです。

このシステムは、生活環境や年齢構成など地域ごとに違いや特徴がありますので、地域ごとに進めることが大切です。現在、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを中核として、医療機関や介護事業所、地域の方々と協働してネットワークづくりに取り組んでいます。「提案の、住民同士が顔見知りの関係になり、日頃の挨拶や声掛けが、これからの安心した生活につながることも大切なことです。まずは、一人ひとりが出来ることのご協力をお願いします。」

(高齢者すこやか支援課 地域包括ケアシステム推進室)

■高齢者にやさしいまちづくり  
孤独死、空き家問題、認知症などに、地域の見守りなど、何気ない住民同士のつながりが、安心して暮らせるまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

(小江原5丁目 30代)

地域のまちづくり活動に参加されていることを大変心強く思います。また、おっしゃるとおり、清掃や植え込みの手入れなどが行き届いた美しいまち

■これからもがんばります！  
地域のまちづくりボランティアに参加しています。先日は、町内あちこちの花壇に花を植えました。美しいまちづくりは防犯にもつながるそうですね。

(高城台1丁目 40代)

は無理する必要はありません。『できること』を、できるときにできる分だけ『そんな気持ちを市民のみなさんに持っていただけたらと願っています。』

(地域コミュニケーション推進室)



は、防犯の力が強いまちと言われています。

ところが最近、人口減少や高齢化、共働き世帯の増加などで、地域のまちづくり活動に参加するかたが減ってきていて、身近なところでは、道路まわりの除草や、ゴミステーションの衛生的な管理などが難しくなってきたといった問題が出ています。地域を支えてくれた「誰か」が、少しずつ減ってきているのです。

今後、人口減少や高齢化がもつと進むと、このような問題だけでなく、子どもやお年寄りの見守り、災害時の対応などといったさまざまな面で不安が出てくるかもしれません。人口を増やすことは難しいかもしれませんが、まちづくりの「活動人口」は増やすことができます。お隣さんやご近所のかたとあいさつをする、地域の清掃に参加する、地域の役を引き受けてみる、どんなことでも、ごなたでもまちづくり活動はできます。そうやって、まちづくりを自分事として考え、活動するかたが増えれば、人口減少や高齢化が進んでも、安心して心地よい暮らしを維持していくことができるのではないのでしょうか。



【8月号の答え】  
明治日本の産業革命遺産  
※7月号には255通のお便りをいただきました。ありがとうございました。

問題  
今回から、簡単・便利なインターネットでの回答が可能になった、5年ごとに実施される調査は？(ヒントは、26ページ)

答え ○○○○

応募方法・応募先  
①○○○○に入る答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報ながさきのご感想やまちづくりについてのご意見を必ず書いて、はがきかホームページで応募してください。  
抽選で右欄のプレゼントを差し上げます。締め切りは9月30日(水)消印有効です。たくさんのご応募をお待ちしています。

【はがき】〒850-8685 桜町2-22  
長崎市広報広聴課「広報ながさき」プレゼント係  
【ホームページ】トップページ「市民参加」の「プレゼントクイズ」  
発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。プレゼントは、商品を提供していただくお店から発送します。お便りは、広報ながさきや市ホームページで紹介させていただく場合があります。